

2021年度岡山史料ネットの活動について

岡山史料ネット

okayamasiryonet@gmail.com <http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>

資料修復活動について

2018年の西日本豪雨の際にレスキューした資料の修復活動を続けていますが、今年度もcovid-19の感染拡大がつづくなかで、事務局のある岡山大学の指針により、ひろくボランティアをつのるかたちで作業を行うことができませんでした。2021年12月以降、岡山大学日本史研究室の学生有志により、固着資料の剥離、洗浄、乾燥といった一連の修復作業をすこずつ再開しているところです。

また、自治体史等を典拠とした県内の史料所在情報データベースの構築も継続しています。



修復活動のようす（2022年1月）

活動報告会「西日本豪雨と図書館」



活動報告会のようす（2021年8月）

8月1日に今年度の活動報告会をオンライン形式で開催しました。

西日本豪雨により休館していた倉敷市立真備図書館が2021年1月に再開したことを受け、その過程で尽力された藤井広美さん（前館長）にその過程で経験されたこと、考えられたことなどをお話しいただき、隈元恒さん（岡山県立図書館）、村上岳さん（瀬戸内市民図書館）からそれぞれの館での地域資料の活用をふくめた防災・減災にむけた取り組み状況などについてコメントいただきました。ニュースレター6号に掲載していますので、ウェブサイト等でご覧ください。

全国から約40名の方が参加されました。

倉敷市地域防災計画修正案に意見を提出

2021年11月に倉敷市が地域防災計画の修正案についてパブリックコメントを実施しました。

修正案の「災害予防計画」のなかに、「市は、県や民間団体（大学・県・建築士会）とともに形成している岡山県文化財等救済ネットワークについて、災害時の連携強化を推進する」という文言が追加されていたことから、岡山史料ネットとして、こどうたわれた連携強化をふまえ、災害時における行政文書や未指定文化財などさまざまな地域歴史文化遺産レスキューのための実施体制が整備されることを期待します、という意見を提出しました。



参考：倉敷市真備支所（2020年6月）

マルセン文化賞受賞

2022年1月（公財）マルセンスポーツ・文化振興財団（岡山市）から、スポーツや文化の発展に貢献した岡山県ゆかりの個人・団体をたたえる「マルセン文化賞」を受賞しました。みなさまのご支援のたまものと感謝しております。ひきつづき、どうぞよろしくお願ひします。（文責・松岡）